

## 農作物へのカメムシ類防除に対する支援を求める意見書

近年の気候変動に伴い、全国的にカメムシの大量発生が報告されており、特に水稲をはじめとする農作物への被害が深刻化している。米の品質低下や収量減少を招き、農業経営に大きな影響を与えているほか、住宅地への飛来による生活環境の悪化も顕著となっている。

水稲カメムシの防除には高度な知識と技術が必要であり、農家や関係団体、自治体の負担は年々増加している。本町では、長年ラジコンヘリによる航空防除を実施してきたが、協力員の高齢化や人員確保の困難等により令和3年度をもって中止し、個人防除（箱処理）へと移行している。果樹や野菜についてもカメムシ類による被害が増加している。

これらの対策は、原則として受益者負担によって行われているが、財政基盤の脆弱な基礎自治体単独では限界があり、広域的かつ国の支援を伴った対応が不可欠である。よって、良質な農作物の安定生産と農業経営の持続のため、国に対して下記の事項を強く要望する。

### 記

- 1 カメムシ防除に係る農薬等購入費用の助成制度を創設すること
- 2 広域的・集団的な防除が効果的であることから、実施可能な地域においては来年度の実施に向けて検討を行うこと
- 3 カメムシの越冬を防ぐため、農閑期における防除対策及び住宅地への飛来対策を講じること

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和7年6月16日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

あて

農林水産大臣

総務大臣

環境大臣

宮城県山元町議会